

2026年5月20日

各位

会社名 株式会社フジ・メディア・ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 清水 賢治  
(コード：4676 東証プライム)  
問合せ先 経理局長 後藤 剛  
(TEL. 03-3570-8000)

## 剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、2026年5月20日開催の取締役会において、以下のとおり、2026年3月31日を基準日とする剰余金の配当について、2026年6月25日開催予定の第85回定時株主総会に付議することを決議しましたので、お知らせいたします。

### 1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2026年2月3日公表)	前期実績 (2025年3月期)
基準日	2026年3月31日	2026年3月31日	2025年3月31日
1株当たり配当金	100円00銭	100円00銭	25円00銭
配当金総額	14,538百万円	—	5,260百万円
効力発生日	2026年6月26日	—	2025年6月26日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

### 2. 理由

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題のひとつとして位置づけ、認定放送持株会社体制のもと、企業価値の向上に向け積極的にグループ事業の成長に向けた投資や新たな事業領域への参入等を行うとともに、業績に応じた成果を株主に配分することを基本方針としております。

当社は、2025年5月16日に策定し、同年9月30日及び11月10日にアップデートした「改革アクションプラン」に基づき、配当について、特殊要因を除き連結配当性向50%を目途とするとともに、1株当たりの年間配当の下限を50円に設定し、利益向上と継続的な自己株式取得により1株当たり配当額の増加を目指すこととしております。そのうえで、2026年2月3日付「配当方針の変更及び配当予想の修正に関するお知らせ」で開示した通り、メディア・コンテンツ事業における広告収入が着実に回復しつつあるなど業績の回復が進んでいることに加え、同日付「都市開発・観光事業への外部資本導入の検討開始決定のお知らせ」の通り、同事業への外部資本の導入を通じて当社グループ全体として財務余力が生じると見込まれることから、ROE目標の早期達成に向けて、2026年2月5日に上限2,350億円の自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による自己株式取得を実施するとともに、1株当たり配当金について、2026年3月期期末配当金を100円に、2027年3月期及び2028年3月期の2年間の年間配当金を200円に大幅に拡充し、当面は自己資本を一定程度に抑制していく方針といたしました。

当期（2026年3月期）の期末配当金につきましては、上記の通り、1株当たり100円といたします。これにより年間配当金は中間配当金25円と合わせて1株当たり125円となります。

本件につきましては、2026年6月25日開催予定の第85回定時株主総会において、正式に決定される予定です。

(ご参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金 (円)		
	第2四半期末 (中間)	期末	合計 (年間)
当期実績 (2026年3月期)	25円00銭	100円00銭	125円00銭
前期実績 (2025年3月期)	25円00銭	25円00銭	50円00銭

以上